

<h1>SDT</h1>	<h2>制振工学研究会通信</h2> <p>SOCIETY OF DAMPING TECHNOLOGY NEWS</p> <p>2013年 3月号</p>	<p>2013年 3月 1日発行 編集 集：会報編集委員会 編集責任者：小白井 敏明 担当者：立石 覚 URL http://www.sdt-jp.com E-Mail:info@sdt-jp.com</p>
--------------	---	--

◇お知らせ

・本通信により会員各位に有用な情報を提供すべく毎月の編集会議では頭を悩まして議論しております。つきましては、ここで取り上げてほしい事がございましたらそのご要望を次のアドレスまで是非お寄せください。

E-MAIL:yamagu@pc.highway.ne.jp

◇研究会の行事案内

開催日時	開催地・会場	名 称	内 容
-	-	-	-

◇分科会・WG・委員会の予定

開催日時	開催地・会場	名 称
13.03.22 15:00~17:00	リオン(株)会議室	会報編集委員会
13.03.28 13:00~17:00	スペクトリス(株) C&D会議室	計測・評価技術分科会、音響管計測WG-II

◇会員消息 (2013年 3月 1日現在)

○会員数		○入退会者
法人会員	30 社	-
個人会員	53 人	-
学生会員	2 人	-

◇関連学協会等の行事案内

開催日	開催地・会場	名 称	主催団体及び内容
13. 3. 1	建築会館会議室 (東京都港区)	シンポジウム 建築物の減衰機構とその性能評価	日本建築学会 http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2013/130301_ko.pdf
13. 3. 4	東京大学生研 (東京都目黒区)	技術講習会 騒音・振動の苦情処理	日本騒音制御工学会 http://www.ince-j.or.jp/02/page/02_a.html
13. 3. 7	東京大学生研 (東京都目黒区)	講習会 「流体騒音・振動」	日本機械学会 http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=2197
13. 3. 13-15	東京工科大学八王子キャンパス (東京都八王子市)	2013年 春季研究発表会	日本音響学会 http://www.asj.gr.jp/annualmeeting/index.html
13. 3. 28	東京工業大学百年記念館 (東京都目黒区)	第26回公開フォーラム ソフトマテリアルの高機能化	日本ゴム協会 http://www.srij.or.jp/

◇技術情報

会員企業紹介

—レオロジーの未来を拓く粘弾性測定装置のエキスパート—

株式会社ユービーエム

[製品案内]

1. 動的粘弾性測定装置

【Rheogel-E4000/Rheosol-G5000】

高分子物体が昇温に反応して固体から液体へ変化する過程におけるレオロジー挙動から物体の構造やメカニズムを探る。

(次ページに続く)

2. 高せん断粘度測定装置

【キャピラリーレオメータ Rheosol-CR100】

インキ、塗料、粘着剤などを細孔ノズルから押し出すことにより高せん断領域における流動シミュレーションを行う。

3. 粘着力測定器

【タックテスター TA-500】

板やフィルムに塗られた塗膜の表面にプローブを接触させた後、それを引き上げる過程に描かれる力とひずみの関係から粘着性を評価する。

4. 動的表面張力計

【Rheo-Surf】

試料液面を振動させ、それに接触させたガラス板に伝わる力と変位とそれらの位相差から動的張力が求まり、動的粘弾性と異なる次元の液体レオロジーを分析する。

[業務内容]

1. 設計・製作(ソフト・ハード)

- 1) 製品の性能や品質のグレードアップ
- 2) 製品の組み立て、調整、試験
- 3) 新製品の開発

2. 共同開発

- 1) 大学研究室の自作品と弊社技術の融合
 - ・ 共鳴プラズモン ISPR(京都大学)
 - ・ 簡易型伸張粘度計(神戸大学)
 - ・ 流動観察粘度計(京都工芸繊維大学)
- 2) 特許出願

3. サンプル測定

- 1) レオロジーを始める方へのPR
- 2) 測定方法やデータに関する問題解決
- 3) 受託測定



【Rheogel-E4000/Rheosol-G5000】



【Rheosol-CR100】



【TA-500】

[今後の展開]

次世代レオロジーブームに向けての製品開発

動的粘弾性測定により高分子物体の分子構造が物理的に解明されている。ひずみに対する緩和挙動が分子鎖間の相互作用と関係しており、さらにモノマーレベルに向けてミクロスケールの解析を可能にする装置の開発こそが次世代のプロジェクトである。

■お問い合わせ先

株式会社ユービーエム

〒617-0004 京都府向日市鶏冠井町

(ムコウカイテチョウ) 四ノ坪 30 番地の 11

TEL 075-935-1006 FAX 075-935-2823

URL <http://www.ubm-rheology.com>

E-mail JDM04354@nifty.com

事務窓口	〒101-0061 東京都中央区銀座 2-10-18 社団法人 日本合成樹脂技術協会
	Tel. 03-3542-0261 Fax. 03-3543-0619
	URL http://www.sdt-jp.com E-Mail: info@sdt-jp.com